

平成 24 年度
事務事業評価 市民意見
(内部評価の公表内容に対する市民意見募集結果)

平成 24 年 10 月

名張市

1．意見募集の趣旨

名張市では、市民の視点及び経営の視点から、事務事業の改善・見直しを行うため、平成19年度より、名張市考査委員会設置条例に基づく専門的な考査並びに名張市自治基本条例第29条に基づく市民への考査の機会の提供を行ってきました。

本考査制度では、各担当室が作成した事務事業シート（内部評価）を市ホームページ等で公表し、市民評価としての意見募集を行うとともに、考査委員（外部の学識経験者）が抽出事業について担当室よりヒアリングを行い、専門的観点から評価を行います。

市民の皆さんから寄せられた意見は、考査委員会による評価と合わせた「外部評価」として、「内部評価」とともに総合的に判断し、今後の事務事業の改善や見直し、次年度の予算編成等に活用します。

なお、考査委員会による事務事業公開ヒアリング（7月30日（月）・31日（火）、8月6日（月））の会場内に市民評価箱を設置し、来場者より事務事業に対する意見を提出いただきました。

2．意見募集の結果

- ・ 募集期間 平成24年7月22日（日）から8月21日（火）まで
- ・ 提出者数 9名
- ・ 提出件数 21件

本年度は、公開ヒアリング会場（傍聴者数3日間 延べ33名）で9名・21件の意見が提出され、意見募集期間内の電子メール・FAX・郵送等での提出意見はありませんでした。

市民意見における評価区分ごとの事業数・構成比

評価区分	件数	構成比
継続（拡大）	5	23.8%
継続（事務改善）	6	28.6%
継続（現行どおり）	3	14.3%
休止・廃止検討	2	9.5%
- 注	5	23.8%
合計	21	100.0%

注：「-」は、評価区分が空欄で提出された意見を示しています。

なお、市民の皆さんから寄せられた事務事業シート（内部評価）に対する評価及び意見は、次ページ以降の一覧のとおりです。

平成24年度 事務事業シート(内部評価)の公表内容に対する市民意見

市民意見用紙には、評価区分(「継続(事務改善)」・「継続(現行)」・「継続(拡大)」・「休止・廃止検討」のいずれか1つを選択)及び意見等の記入欄を設けていましたが、「評価区分」が未記入であったものは、「-」と表記しています。

1. 考査委員会公開ヒアリングの会場内に設置した市民評価箱への提出意見(7月30日・31日、8月6日)

シート No	担当 部局	担当室	事務事業名	市民意見	
				評価 区分	評価理由・意見概要
1 1 3 0	企画財 政部	危機管 理室	防災対策費	継続 (現行)	防災は守り対策のため、事業活動の目玉は出しにくい、住民の安全のために地道な効果的な計画をお願いしたい。 講師代を安くしたいとの発言があったが、平成23年度で群馬大の教授はテレビで有名なため、高額と推測する。
				継続 (拡大)	生涯学習教室で名張川氾濫の歴史を学んだ。両ダムにより治水は大きく改善されているが、名張川に沿った町に在住する方々は台風・大雨等により溢れる川の恐怖を感じていると思われる。 ハザードマップによる対応すべき危機管理の徹底を更に拡大(今までの降雨量を更に超える事態の発生や名張川が氾濫する限界降雨量を算出して、有り得えないことが有り得るとする)していただきたい。それには危機管理室の人工数は少な過ぎると考える。
				-	自主防災組織は完璧に出来ているという話しを、確か亀井市長就任以降に聞いた。しかし、本日の発言では、未だその実態は無力に近い。また、危機管理室ほど重要な部署でありながら、状況さえ掴んでいないのに驚いた。 いま重要なことは避難所の運営管理のルールづくりと、避難場所(例えば学校)との意思疎通や合意問題である。何人収容できるか・できないか、指揮は誰が執るかもはっきり出来ておらず、学校からも意見がきている。地域づくり組織でも問題にしているが、一向に前進できない。
7 0 1 3 1	名張市 立病院	経営総 務室	市立病院 (病院事業 会計)	継続 (事務 改善)	医師確保が最重点課題となっているが、病院経営に対する病院担当者の説明はほとんど納得が得られない。経営数値に対しての基幹部分収支に関する具体的なものが示されず、このままではいつまで経っても赤字からの脱却はできないと思われる。5年先、10年先の中長期ビジョンを経営数値化すべき。
				継続 (拡大)	患者や医師にとって魅力ある病院づくりを期待している。患者にとって医師数が増えることと能力が伴っていることの両方を期待する。医師にとって魅力ある病院とは技能向上ができる病院と推測する。千葉にある亀田クリニックが大きな期待感を与えている理由をご存知と思うが、名張への適合性を検討されてはどうか。
				-	損益分岐点も理解されておらず、経営分析が出来ていないことが、よく分かった。私たちは、地域づくりで病院を良くしていくためにどうすれば良いかビジョンに掲げて市立病院にも声を掛けている。来院患者を望んでいることは今日の発言で分かったのも、もっと利用していただけるよう住民に声を掛ける。これまで外から見ていると、患者が来ないようにしていると思っていた。
7 8 0 3	伊賀南 部環境 衛生組 合事務 局	業務室	収塵車管理 費(経常分)	継続 (事務 改善)	ISO14000を今でも継続されているか判らないが、活動指標で「可燃ごみは横ばい」、「不燃ごみは増加傾向」にあり、減量化への市の取組方向をどうするのか、収塵車管理とはリンクしないかもしれないが、全体としてどうしようとしているのか見えない。

平成24年度 事務事業シート(内部評価)の公表内容に対する市民意見

シート No	担当 部局	担当室	事務事業名	市民意見	
				評価 区分	評価理由・意見概要
1 0 9 4	産業部	産業政 策室	バイオマス タウン構想 推進事業	継続 (現行)	事業内容を絞り実施に踏み込んでほしい。予算の見通しがつき次第、順次拡大していく。
				継続 (拡大)	名張の地域性を考えた場合、バイオマスを利用する武器は何かを明確にしてほしい。エネルギー政策の一環として考えるならば、他のエネルギーとの位置付けを行い、名張の特長を出せる事業に育ててほしい。
				休止・ 廃止 検討	事業説明を聞いていると特に担当の方は専門的知識があるとは思えず、バイオマス活用推進基本法があるからやっている感じもしないわけではなく、バイオマスタウン構想とは程遠い内容で名張市にとって必要なのか。継続(現行)なら、廃止すべき。
				-	バイオマスタウン構想の推進に興味があり、名張市の取組実態を知りたく初めて参加した。聞いた内容は期待外れであった。実践内容が不明、PR不足。三重県名張市として、"何が実施可能か"あるべき姿をはっきり示すべき。そのマスタープランがあるか否か不明。その姿が見えないので、成果があやふや。
3 0 4 6	産業部	農林資 源室	麦・大豆・奨 励野菜等団 地化生産事 業補助金	継続 (拡大)	名張の農業施策の中での本事業の位置付けが分からなかった。農業は非常に重要で大きな問題のため、今後の農業の方向付けにより自立を図るような補助金としてほしい。事業費用・職員数からみて、問題解決に向けた意欲が感じられない。もっと積極的に支援し、早期の自立化が必要。
				休止・ 廃止 検討	やっていることがお粗末すぎる(耕作放棄地を無くすために小麦を作り、米のかわりに所得補償している。市がなぜやるのか。)。補助金のためのものか。JAがやる内容ではないか。担当者には気の毒と思うが、事業とは名ばかりで、すぐに廃止すべき内容である。もっともらしくシートに取り上げる内容では無く、公開ヒアリングで貴重なコスト時間をかける内容にあらず。
3 0 6 4	産業部	観光交 流室	名張市観光 協会補助金	継続 (事務 改善)	本当に深刻な状況だと感じる。担当が、真剣に真摯に、事の重大さを感じないとダメだ。考査委員の指摘はもっともだ。私も観光は名張躍進のポイントとなると思うが、このままではとても無理だ。実に恥ずかしい限りだ。とても市民に公開できる状況と言えなかった。
				継続 (拡大)	考査委員長の「現状維持でなく、もっと市民の支持を得られる本気の取り組みで事業費の補助増大案意向」に賛成である。その抜本的対策、施策の提案は、観光客の増大であり、現状では無理と思う。現状の取組プラス新しい取組で、歴史・文化に基づく新しい取組(入り口近くが最もインパクト、効果大)。基本対策他は、名張市のDNAである赤目滝の観光客40万人対策。大前提・・・赤目渓谷の世界・文化遺産登録準備、取組。休眠滝の復活・・・入口から2番目、6番目の効果的な銚子滝、大日滝の水源確保(いずれもスケール的には不動滝を上回る。特に銚子滝は入口目の前でインパクトがかなり大きく、代表的な滝に間違いなくされる。)。西暦1649年、1654年の記録にもある丈六虫の大復活(かなり戻っており、観光ダム下の駐車場(見学地)整備)。渓谷内へ準絶滅危惧種の姫虫定着(長坂山ふもと)。
				-	観光協会補助金の打ち切りを考えてはどうか。既得権益となってしまっていて、活動指標がホームページのアクセス数。市として、本当にそれで良いのか。担当室による点検の術が全て"できない"とかではお粗末で、管理が何もできてないと同じではないか。お役所仕事である。観光協会のトップは活動しているのか。市役所からの天下りではないのか。

平成24年度 事務事業シート(内部評価)の公表内容に対する市民意見

シート No	担当 部局	担当室	事務事業名	市民意見	
				評価 区分	評価理由・意見概要
7 5 2 7	健康福 祉部	高齢・障 害支援 室	紙おむつ購 入費給付事 業	継続 (事務 改善)	家庭の経済力との関係で弱者支援は必要と考えるが、要支援の認定基準に経済力の評価も重要と考え、より弱者に支援の手が届くように考慮願いたい。
1 0 0 5	総務部	総務室	市史編さん 事業	継続 (事務 改善)	早期収集と保存の重要性、プランの再検討の早期実施。 古い重要構築物は、順次改築される可能性が高くなっていく。市民のニーズは、担当部の自己満足にならないように。
				継続 (現行)	宝暦年間の伊賀藤堂と名張藤堂関係の資料が出てこないか。 藤堂高吉公の親元の二本松藩に名張関係の資料があるかないか。
5 0 0 2	総務部	管財室	自動車管理 費	継続 (事務 改善)	公用車購入時の交渉能力の検討(ディーラー・メーカーとの折衝)。リースは必ずしも有利ではない。 優良企業の資本の有効活用と節税バランスにあると考える。国産車は経験上、20万Km以上走行可能と考える。 活用効率の向上化をめざすデータ収集と配車管理の再検討してもらいたい。
6 0 1 0	総務部	情報政 策室	情報システ ム運用管理 費	-	セキュリティ対策に更なる注意を。定期的また抜き打ちで、アクセス調査点検を行い、安全確認・安全対策を。情報の持ち出し防止に、ダブル安全対策(トリプルが望ましい)が必要と考えるが、毎朝点検からその日をスタートし、危機感を持ち続けてもらいたい。 システム改修委託料については、委員長の言葉は、毎年聞いていることかもしれない。

2. 電子メール・FAX・郵送等による提出意見(意見募集期間:7月22日~8月21日)

意見募集期間内の電子メール・FAX・郵送等による提出意見はありませんでした。